

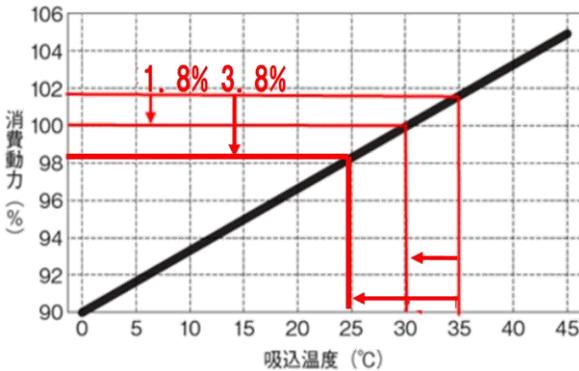
コンプレッサの暑さ対策特集

夏前のトラブル対策&すぐできる省エネ!



- ☑ 夏になるとコンプレッサ室が暑くなる (40℃以上) …
- ☑ コンプレッサ室が暑くなると、エアが足りなくなる…
- ☑ さらに、熱がこもるとコンプレッサが止まる…
- ☑ 故障が増えて、修理メンテナンス費が掛かる…
- ☑ 本体の故障も増えて、買替・購入費も高む…

実は、吸気温度を10℃下げただけで3.8%省エネ!

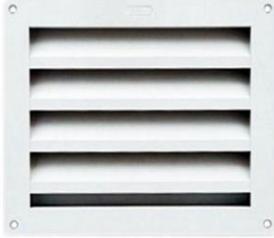


左図は、コンプレッサの吸気温度と消費電力の関係と表した図となります。吸気温度が低ければ低いほど省エネにつながり、高ければ高いほど、増エネになることがわかります。例えば、吸気温度が30℃とした際の消費電力を100%すると、実は、吸気温度が35℃まで上がると約1.8%の増エネになります。反対に25℃まで冷やすと2%ほど省エネになる。よって、夏場いかに吸気温度を低減させるかが省エネにおけるポイントです。

■ 吸気温度を低減させる“カンタン”な方法は以下のような方法があります!



屋根・壁からの熱の流入を防ぐ



給気量・排気量を見直す



排気用ダクトを接続して、断熱する



「地下水ユニットクーラー」で吸気温度を25℃まで下げる

暑さ対策をしっかりすれば、コンプレッサ本体の故障を減らして、
修理費・買替購入費をも削減させることができます!

少ない経費から出来る！理想の省エネ！

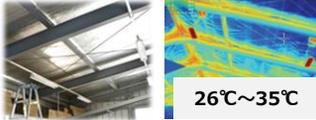
夏場、コンプレッサ室の室温を5℃下げる“屋根用遮熱シート”



天井裏に遮熱シートを施工。屋根から流入してくる熱（輻射熱）を97%カットし、室温を5℃～低減！吸気温度が低減し省エネに貢献！

アルミ純度99%
厚さ0.5mmのシート

※右図は、遮熱シートの施工前と施工後のサーモグラフィーを使用して屋根裏の温度を測定した際の様子



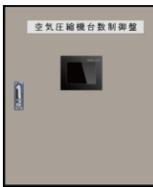
吸い込み温度を10℃低減させる“地下水ユニットクーラー”



工場内の地下水を活用して、ほぼエネルギーゼロで冷風を作り出す。17℃～20℃と冷たい地下水を活用することで夏場でも26℃程度の冷風を生成。

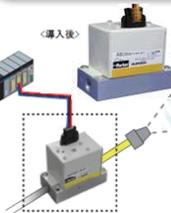
これをコンプレッサの吸い込みに活用することでコンプレッサの2%～4%の省エネにつなげる。

従来より、圧力を細かく制御できる“負荷予測型の最新台数制御”！



従来の台数制御は、配管圧力が規定圧力まで上昇した際に、アンロード運転または停止させている。（圧力を上げながら制御）本制御は、**圧力を下げながら圧力の変化状況や流量状況により、最適な機器の運転と制御停止を実現する。**常に負荷を予測した台数制御により、無駄なアンロードの抑制、低圧力を実現。

ブロー効果UP & 省エネにもなる“エアブロー間欠ユニット”！



製品に付着した異物除去や水切り、埃飛ばし、除電で使用しているエアブローをパルス式にする。**エアブローをON・OFFすることで、OFFの間のエア消費量を削減。**ONとOFFを繰り返すことでエアブローの能力が向上！

排気ダクトからの放熱を抑制し、吸込温度を低減“設備用遮熱シート”



排気ダクトからの放熱により、室内に熱がこもり、機器の負荷が上がっていました。そこで**排気ダクトを遮熱シートで遮熱！**さらに給気量を見直し、ガラリを設置したことで**吸込温度を5℃低減**することに成功。



耳では特定できない漏れ箇所に“エア漏れチェッカー”！



エア漏れ箇所を特定するチェッカー。耳で特定できなかったエア漏れ箇所を把握。ヘッドフォン式で稼働中も使用可能！

（※現場の状況により、ヘッドフォンをしても聞こえない場合があります）



減圧弁



ノズル

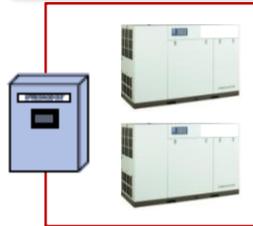


ヘッダー



配管

分散設置（ループ配管 or 接続）を“ネットワーク台数制御”！



従来の台数制御の対象は、同室内にて集中設置させているコンプレッサのみとなる。本制御は、ループ配管および配管が接続されている場合は、離れた場所に設定してあるコンプレッサも台数制御が可能となり、**全体制御が可能**となる。

水冷式の冷却水を水質改善！メンテフリーの“無機物中性薬剤”



ほぼ中性の特殊薬剤により、配管や熱交換器を傷めずに冷却水の水質を改善し、スケール・シリカの剥離除去・予防を実現させる。夏場に多い、**水冷式コンプレッサの冷却不足のトラブル改善**をはかる。

「少ない経費から出来る！コンプレッサ理想の省エネレポート」無料プレゼント！

先着10名様限定！
8月30日までにお問い合わせを！

FAXでご返送ください！

◆◆◆ お客様お問い合わせ記入欄 ◆◆◆

今回の記事内容に関しまして、ご質問・ご不明な点などございましたら下記ご記入の上、FAXして頂くか、電話にてお問い合わせ下さい。

少ない経費から出来る！

コンプレッサ理想の省エネレポートを希望する

コンプレッサの省エネで相談したいことがある

〒253-0061 神奈川県茅ヶ崎市 南湖5-16-17

丸越のHPIはコチラ ⇒ <http://www.kk-marukoshi.com/>

お名前

貴社名

ご住所 〒

電話番号

TEL:0467-87-1551

FAX:0467-85-2153